

調査団報告書

調査No. 10

調査内容

昔、鶴舞公園に金閣寺があったって聞いたけど、ほんと？

調査手順

昔のことを調べるなら、まずは『新修名古屋市史』から。鶴舞公園の項目を見てみると、明治43年に現在の鶴舞公園の敷地内で博覧会「第十回関西府県連合共進会」が開催されたことが分かった。博覧会といえはいろんなパビリオンが作られるもの。もしかして、金閣寺に似せたパビリオンがあった？

では、共進会について調べてみよう。『第十回関西府県聯合共進会全図』は会場全体を俯瞰した図で、建物の形が立体的に描かれている。それを見ると…お寺のような建物が2つあった。ひとつは「貴賓館」、もうひとつは「キンビール」と書いてある！？

次にちゃんと金閣寺に似た建物かどうか、写真で確認しよう。「貴賓館」については『明治・名古屋の顔』p. 183に載っていた。貴賓館とは「聞天閣(もんてんかく)」という迎賓用の建物で「金閣寺をそのまま、そっくり模した」という説明文が載っている。「キンビール」の方は『麒麟麦酒株式会社五十年史』p. 74に写真を発見。そこには「金閣寺を模したキンビヤホール」の文字が。なんと、ビヤホールだったのか！この頃からビヤホールってあったんだなあ。

調査結果

明治43(1910)年に開催された博覧会「第十回関西府県連合共進会」時に建てられた建物で、「聞天閣」という貴賓館と、キンビールのビヤホールの2つがあった。写真で見ると両方とも外観は微妙に違っているけれど、どちらも「金閣寺を模して造られたものらしい。今は残っていないのが残念。

今回の調査で使った資料

『新修名古屋市史 第6巻』 新修名古屋市史編集委員会／編集

名古屋市 2000年

『第十回関西府県聯合共進会全図:三府二十八県』 名古屋用達 1910年

『明治・名古屋の顔』 服部鉦太郎／著 六法出版社 1973年

『麒麟麦酒株式会社五十年史』 麒麟麦酒／編集 麒麟麦酒 1957年

